

女性平和基金－反核平和・自国政府に迫る運動で連帯

○18カ国、2つの自治領などから、のべ63人を招待。

○日本でも世界でも市民が社会を動かし、大きく変わろうとしているとき、日本の草の根運動と世界の運動をつなぐ「女性平和基金」の役割がいよいよ大切に

○海外女性の参加は、平和をめぐる世界情勢や時の焦点の活動、ジェンダー視点と世界の女性の平和のたたかいを原水爆禁止世界大会と女性のつどいに反映させ、互いに励ましあって連帯を深め、反核平和運動の前進の力に

○それぞれの国で自国政府に迫る運動を広げ、連帯つよまる

2017年2月2日（木曜日）

新 婦 人 し ん ぶ ん

（第三種郵便物認可）第3164号（2662）

（8）



21日、米ワシントンのペンシルベニア通りを埋め尽くす抗議デモの参加者ら＝北島忠輔撮影（写真：東京新聞）

「米国第一」掲げ、排外主義、憎悪、格差拡大へ

トランプ大統領は就任（1月20日）早々、大統領令を次つぎ発令し、●メキシコとの国境に、違法移民の入国を防ぐ2200キロの壁を建設（費用はメキシコからの輸入品に20%関税で）●家族計画や性と生殖に関する女性の権利を推進し中絶を含めて助言、支援する非政府組織（NGO）への補助金禁止●温室効果ガスの削減計画廃止●環太平洋連携協定（TPP）から離脱、相手国へいっそうの譲歩を迫る「2国間交渉」に軸足●皆保険をめざす、医療保険制度（オバマケア）を見直すなど人権、外交、税制など諸分野で米国と多国籍企業の利益を第一にした政策を打ち出している。

20人の若い女性が
ワシントン女性行進

「一面から」
日本で、世界で、
安倍政権ノミ、トラ
ンプ・ノーと女性た
ちが声を上げていま
す。米国のアン・ラ
イトさんからの連帯
のレポートです。

女性差別、移民排除やめよ

ワシントンで、世界で、女性数百万人が行動

がとどくまれた2017年1月21日は、劇的な日になりました。100万人以上とも言われ、首都ワシントンが史上最大の数の女性であふれかえったのです。



その前日は、ドナルド・トランプがアメリカ合衆国の大統領に就任し、気がめいる一日でした。だからこそ、私たちにこんな日が必要だったのです。

大統領選の間、私たちは、ヘイトスピーチ、偏見、人種差別や性差別発言をはじめ、アメリカの政策や行動が世界のすべての人々に及ぼす影響への理解や配慮がないこと、医療への支出削減で、女性に対する戦争ともいうべき、女性が自分の体について選ぶ権利に対する攻撃など、トランプの言動にぞっとしました。トランプ政権と共和党右派が計画し

女性への攻撃に



ワシントン女性行進で（21日）

ていたことは、私たち全員にとっての脅威です。女性行進ではそれらを吹き飛ばすものになりました。行進は20人の若い女性たちが組織しました。彼女たちの多くはそれまで互いに会ったことがなく、大きなイベントをやるどころか、選挙後わずか2カ月で準備するなど考えもしませんでした。3時間に及ぶ集会、ホワイトハウス前のエリフス広場まで途切れることなく行進し、ハワイからトハス周辺の通りという通りを埋め尽くした人々、人々。圧巻の大成功となりました。アメリカ国内600

集会と行進が比類ないものであったと同時に、ピンクの帽子をかぶる女性のとどろくも注目を集めました。世界中で女性たちがトランプの不快な性差別発言への抗議のシンボルとして、「プッシュ・ハット」という、猫の耳をかたどったピンクのニット帽をかぶりました（「プッシュ」は子猫、女性性器の意味も）。「プッシュ・ハットプロジェクト」として編まれ郵送された帽子には、編んだ女性たちから、トランプの、女性に対する言動への嫌悪を表現したメッセージが添えられました。行進でもっとも受けたブラカードの一つは、ト

いきます！

女性平和基金で2009年に招待
日本母親大会、原水爆禁止世界大会に参加